

気候情報

2010年3月の日本の天候

- 北日本から西日本にかけて顕著な多雨と寡照
- 沖縄・奄美では降水量がかなり少なかった
- 気温の変動が大きかった

3月の天気概況

日本の南で高気圧が平年より強かったため、南から暖かく湿った気流が入りやすく、北日本から西日本にかけては、低気圧や前線の影響を受けやすかった。上旬は本州付近を次々と低気圧が通り天気ぐずついたほか、中旬以降も数日おきに低気圧が本州付近を通過し、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多かった。このため、北日本日本海側と東・西日本では月降水量はかなり多く、特に東日本太平洋側では地域の統計を始めた1946年以来、3月としての最大値を更新した。また、北日本と東日本日本海側、西日本日本海側では月間日照時間がかなり少なく、北日本日本海側と東日本日本海側では3月としての最小値を更新した。

一方、沖縄・奄美では、低気圧や前線が平年より北を通過することが多かったため平年に比べ晴れの日が多く、月降水量はかなり少なかった。

月平均気温は、北日本で平年並、東日本以西で高かったが気温の変動が大きかった。上旬と中旬は、一時的に寒気の影響を受けた上旬の終わりを除き、南から暖かい空気が入り気温は平年を上回る日が多かった。一方、月末にはこの時期としては強い寒気が流れ込んだ影響で全国的に顕著な低温となった。

上旬：短い周期で次々と低気圧が本州付近を通過し、全国的に曇りや雨の日が多かった。南から暖かい空気に覆われ気温は平年を上回る日が多かったが、期間の終わりには寒気の影響を受け気温は平年を下回った。

中旬：数日の周期で低気圧が日本海と本州付近を通過し、天気は周期的に変わった。寒気の影響を受けた期間のはじめと17～18日頃は気温は平年を下回ったが、その他は平年を上回った日が多く、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込むなどして大幅に上回った日もあった。

下旬：21日は北日本で低気圧が発達し、北海道を中心に記録的な暴風となった。また各地で黄砂を観測し交通機関に影響が出た。その後は一旦、高気圧に覆われ全国的に晴れたが、23～25日にかけては前線を伴った低気圧が本州の南岸を進んだ影響で、東・西日本を中心に曇りや雨となった。期間後半はこの時期としては強い寒気が流れ込んだため、全国的に顕著な低温となった。

3月の気候統計

月平均気温：東日本から沖縄・奄美にかけて高かつ

た。北日本では平年並だった。

月降水量：北日本日本海側、東日本、西日本でかなり多く、北日本太平洋側が多かった。一方、沖縄・奄美ではかなり少なかった。

月間日照時間：北日本、東日本日本海側、西日本日本海側でかなり少なく、東日本太平洋側と西日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美では多かった。

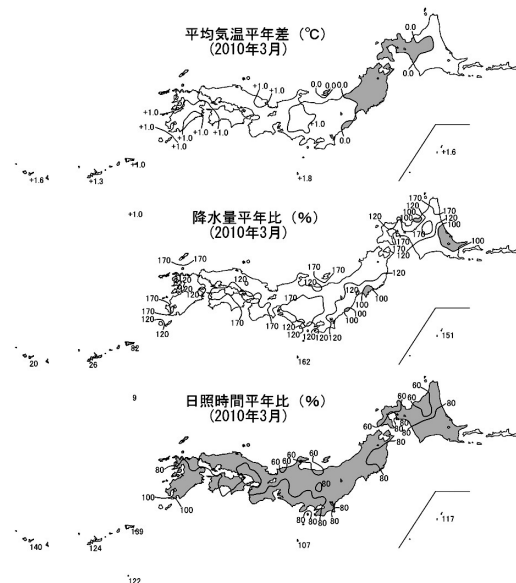
降雪・積雪：降雪の深さ月合計は東日本日本海側で少なく、北日本日本海側と西日本日本海側では平年並だった。北日本太平洋側では多かった。月最深積雪は、北日本から西日本にかけての日本海側では平年を下回ったところが多かったが、北日本太平洋側では平年を上回ったところが多かった。

(気象庁観測部統計室)

3月の記録(1位更新のみ)

- ・月降水量多い方から (mm)
 - 諏訪 159.5 飯田 266.5 河口湖 182.0
 - 三島 289.5 網代 299.5 静岡 381.5
 - 伊良湖 197.0 尾鷲 444.5 境 219.0
- ・月降水量少ない方から (mm)
 - 名護 38.5
- ・月間日照時間少ない方から (時間)
 - 輪島 71.4 福井 78.2 敦賀 78.4
 - 鳥取 78.8 米子 94.3 西郷 89.8
- ・降雪の深さ月合計多い方から (cm)
 - 留萌 148 旭川 178
- ・月最深積雪大きい方から (cm)
 - 八戸 61

2010年3月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。